

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2014-522877(P2014-522877A)

【公表日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2014-524398(P2014-524398)

【国際特許分類】

C 0 7 D 249/08 (2006.01)

A 0 1 N 43/653 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

A 0 1 N 43/84 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

A 0 1 P 13/00 (2006.01)

C 0 7 D 403/04 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 D 491/107 (2006.01)

C 0 7 D 487/10 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 D 493/10 (2006.01)

C 0 7 D 498/04 (2006.01)

C 0 7 D 413/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/553 (2006.01)

A 6 1 K 31/5355 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 249/08 5 3 5

A 0 1 N 43/653 L

A 0 1 N 43/90 1 0 2

A 0 1 N 43/84 1 0 1

A 0 1 N 43/653 C

A 0 1 N 43/90 1 0 3

A 0 1 P 7/04

A 0 1 P 13/00

C 0 7 D 403/04 C S P

C 0 7 D 487/04 1 3 7

C 0 7 D 491/107

C 0 7 D 487/10

C 0 7 D 405/12

C 0 7 D 493/10 C

C 0 7 D 493/10 G

C 0 7 D 498/04 1 1 6

C 0 7 D 413/06

A 6 1 K 31/553

A 6 1 K 31/5355

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 P 33/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年6月1日(2016.6.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

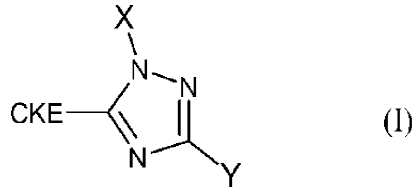
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)の化合物。

【化1】



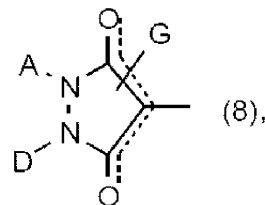
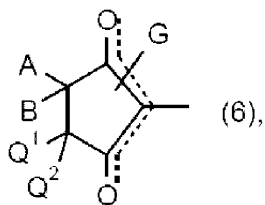
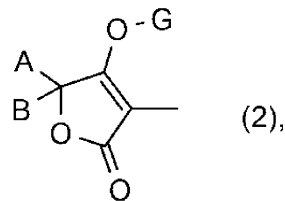
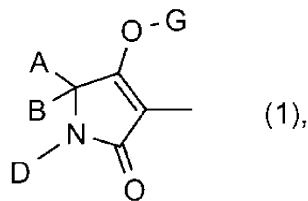
[式中、

Xは、メチル、エチル、n-プロピル、イソプロピル、n-ブチル、 $-CH_2CF_3$ またはシクロプロピルを表し、

Yは、フェニル、4-Cl-ベンジル、4-F-フェニル、4-Cl-フェニルまたは2,4-Cl₂-フェニルを表し、

CKEは、下記の基：

【化21】



のうちの一つを表し、

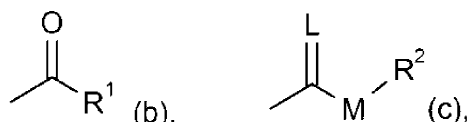
Aは、水素、メチル、エチルまたはシクロプロピルを表し、

Bは、水素、メチルまたはシクロプロピルを表し、

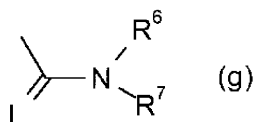
A、Bおよびそれらが結合している炭素原子は、飽和C₅-C₆-シクロアルキルを表し、それにおいて1個の環員が酸素または窒素によって置き換わっていても良く、メチル、エチル、メトキシメチル、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、ブトキシ、トリフルオロエトキシ、トリフルオロメチルまたは $-O-CH_2CH_2CH_2-$ によってモノ置換もしくはジ置換されていても良く、ここで、N-置換基はメトキシまたはエトキシに限られ、または

A、Bおよびそれらが結合している炭素原子は、アルキレンジオキシ基(2個の直接隣接していない酸素原子を含むことで、メチルによってモノもしくはジ置換されていても良いさらなる5員もしくは6員環を形成している)によって置換されていても良いC₆-シクロアルキルを表し、

D は、水素もしくはシクロプロピルを表し、または
 A および D は一体となって、1 個の炭素原子が酸素によって置き換わっていても良い C₃ - C₅ - アルカンジイルを表し、または
 A および D は一体となってアルケレンジオキシ基（2 個の直接隣接していない酸素原子を含んでいても良く、メチルによってモノからジ置換されていることで、さらなる 5 員環を形成していても良い）によって置換されていても良い C₃ - C₅ - アルカンジイルを表し、または
 A および Q¹ は一体となって C₃ - C₄ - アルカンジイルを表し、
 Q² は水素を表し、
 G は、水素（a）を表し、または下記の基：
 【化 2 2】

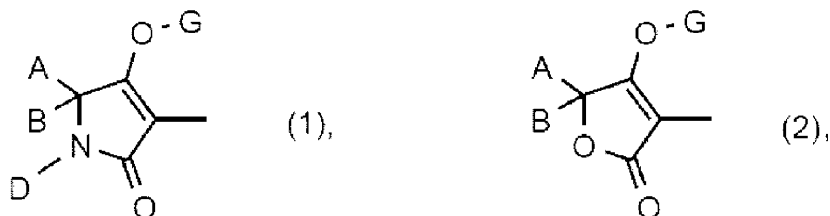


のうちの一つを表し、
 L は酸素を表し、
 M は酸素を表し、
 R¹ は C₁ - C₆ - アルキルを表し、
 R² は C₁ - C₆ - アルキルを表し、または
 G は下記の基（g）：
 【化 2 3】



を表し、
 L は酸素を表し、
 R⁶ および R⁷ は一体となって、1 個の炭素原子が酸素によって置き換わっている C₅ - アルキレン基を表す。]
 【請求項 2】

X がメチルまたはエチルを表し、
 Y が 4 - F - フェニルまたは 4 - Cl - フェニルを表し、
 C K E が、下記の基：
 【化 2 4】



のうちの一つを表し、
 A が水素またはメチルを表し、
 B が水素またはメチルを表し、
 A、B およびそれらが結合している炭素原子が飽和 C₆ - シクロアルキルを表し、それにおいて 1 個の環員が酸素によって置き換わっていても良く、メチルもしくはメトキシによってモノ置換されていても良く、
 D が、水素もしくはシクロプロピルを表し、または
 A および D が一体となって、1 C₃ - アルカンジイルを表し、
 G が水素（a）を表す請求項 1 に記載の式（I）の化合物。

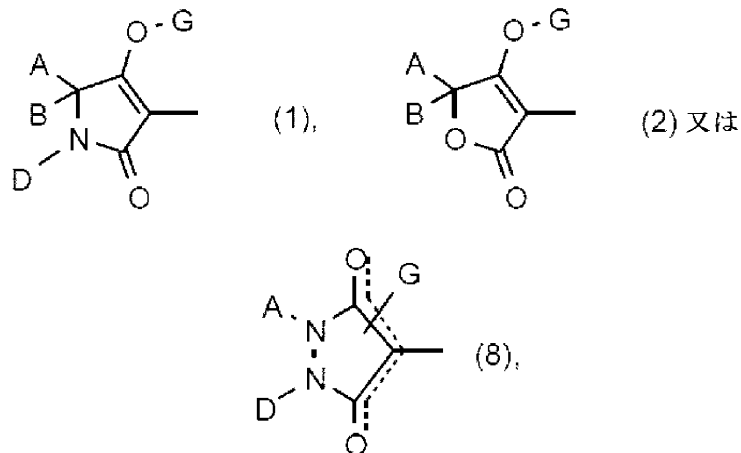
【請求項 3】

X がメチル、エチル、イソプロピル、n - プロピル、n - ブチルまたは $-CH_2 - CF_3$ を表し、

Y がフェニル、4 - Cl - ベンジル、4 - F - フェニル、4 - Cl - フェニルまたは 2,4 - Cl₂ - フェニルを表し、

C K E が、下記の基：

【化 2 5】



のうちの一つを表し、

A が水素、メチルまたはシクロプロピルを表し、

B が水素、メチルまたはシクロプロピルを表し、

A、B およびそれらが結合している炭素原子が飽和 C₆ - シクロアルキルを表し、それにおいて 1 個の環員が酸素もしくは窒素によって置き換わっていても良く、メチル、エチル、メトキシ、エトキシ、n - プロポキシ、トリフルオロメチルもしくは $-O - CH_2 - CH_2 - CH_2$ によってモノ置換もしくはジ置換されていても良く、ここで、N - 置換基はメトキシもしくはエトキシに限られ、

A、B およびそれらが結合している炭素原子が、アルキレンジオキシ基（2 個の直接隣接していない酸素原子を含むことから、メチルによってモノ置換されていても良いさらなる 6 員環を形成している）によって置換されていても良い C₆ - シクロアルキルを表し、

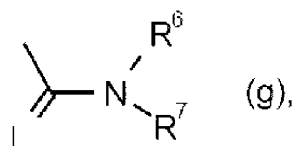
D が水素もしくはシクロプロピルを表し、または

A および D が一体となって C₃ - アルカンジイルを表し、

C K E = 基 (8) の場合に A および D が一体となって $-(CH_2)_2 - O - (CH_2)_2 -$ を表し、

G が水素 (a) を表し、または基 (g)：

【化 2 6】



を表し、

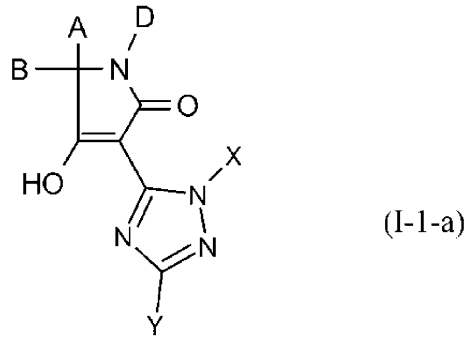
L が酸素を表し、

R⁶ および R⁷ が一体となって、1 個の炭素原子が酸素によって置き換わっている C₅ - アルキレン基を表す請求項 1 に記載の式 (I) の化合物。

【請求項 4】

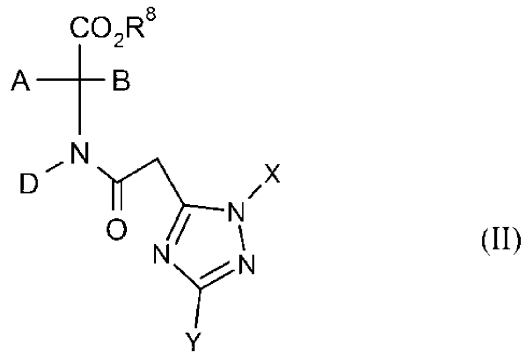
(A) 下記式 (I - 1 - a) の化合物：

【化 2 7】



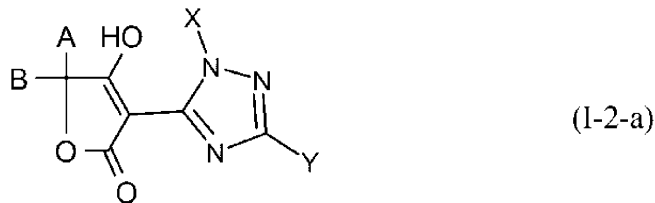
(式中、A、B、D、XおよびYは上記の意味を有する)を得るために、下記式(II)の化合物:

【化 2 8】



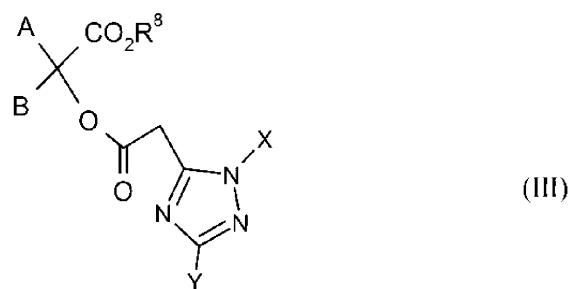
(式中、A、B、D、XおよびYは上記の意味を有し、R⁸はアルキルを表す。)を、希釈剤の存在下および塩基の存在下に分子内縮合する;
(B)下記式(I-2-a)の化合物:

【化 2 9】



(式中、A、B、XおよびYは上記の意味を有する。)を得るために、下記式(III)の化合物:

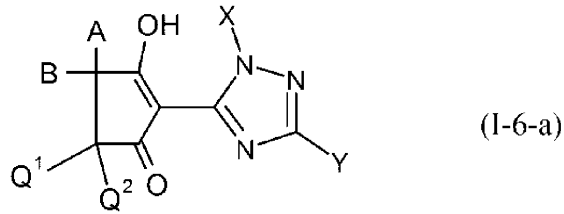
【化 3 0】



(式中、A、B、X、YおよびR⁸は上記の意味を有する。)を、希釈剤の存在下および塩基の存在下に分子内で縮合させる;

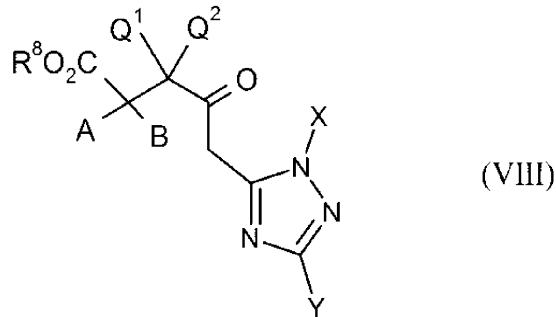
(F)下記式(I-6-a)の化合物:

【化 4 0】



(式中、A、B、Q¹、Q²、XおよびYは上記の意味を有する。)を得るために、下記式(VIII)の化合物:

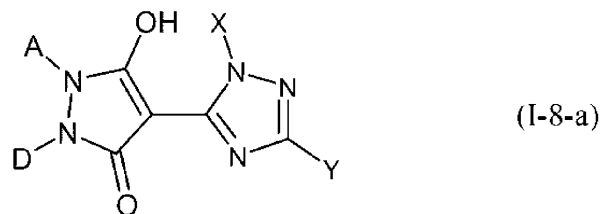
【化 4 1】



(式中、A、B、Q¹、Q²、XおよびYは上記の意味を有し、R⁸は、アルキルを表す。)を、適切な場合に希釈剤の存在下および塩基の存在下に分子内で環化させる;

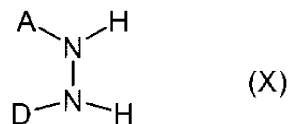
(H)下記式(I-8-a)の化合物:

【化 4 4】



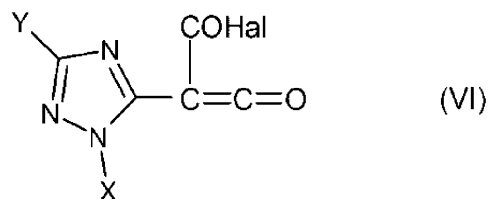
(式中、A、D、XおよびYは上記の意味を有する。)を得るために、下記式(X)の化合物:

【化 4 5】



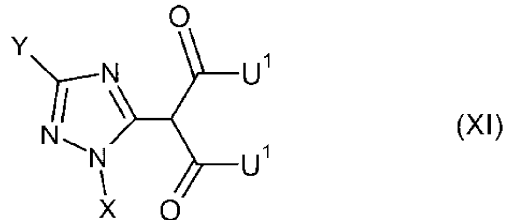
(式中、AおよびDは上記の意味を有する。)を、
)下記式(VI)の化合物:

【化 4 6】



(式中、Hal、XおよびYは上記の意味を有する。)と、適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に酸受容体の存在下に反応させる、または
)下記式(XI)の化合物:

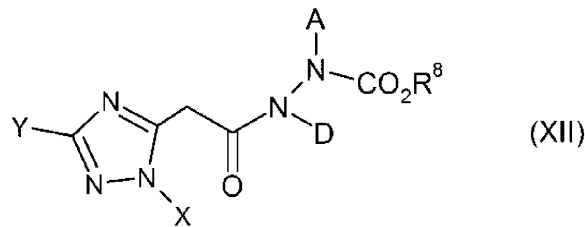
【化 4 7】



(式中、XおよびYは上記の意味を有し、U¹はNH₂もしくはO-R⁸を表し、R⁸は上記の意味を有する。)と、適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に塩基の存在下に反応させる、または

)下記式(XII)の化合物:

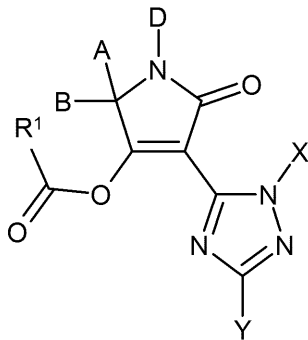
【化 4 8】



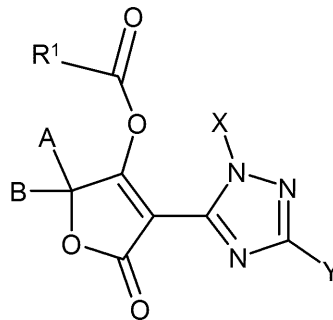
(式中、A、D、X、YおよびR⁸は上記の意味を有する。)と、適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に塩基の存在下に反応させる;

(L)下記で示した式(I-1-b)、(I-2-b)、(I-6-b)または(I-8-b)の化合物

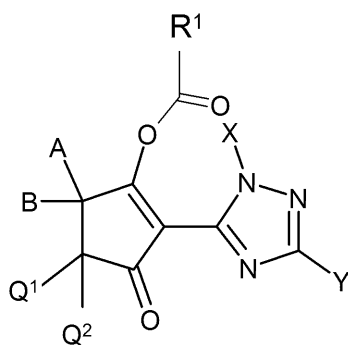
(I-1-b):



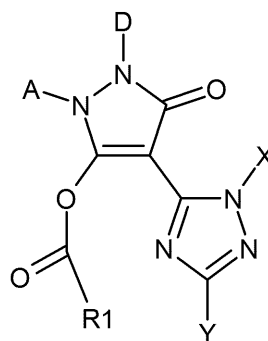
(I-2-b):



(I-6-b):



(I-8-b):



(A、B、D、Q¹、Q²、R¹、XおよびYは上記の意味を有する。)を得るために、上記で示した式(I-1-a)、(I-2-a)、(I-6-a)または(I-8-a)の化合物(A、B、D、Q¹、Q²、XおよびYは上記の意味を有する。)を、各場合で

() 下記式 (XVI) の酸ハライド :

【化 5 5】



(式中、 R^1 は上記の意味を有し、
Hal はハロゲンを表す。) と、または

() 下記式 (XVII) のカルボン酸無水物 :

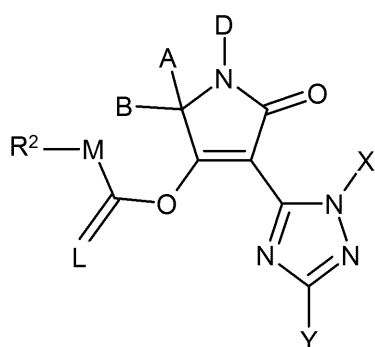
【化 5 6】



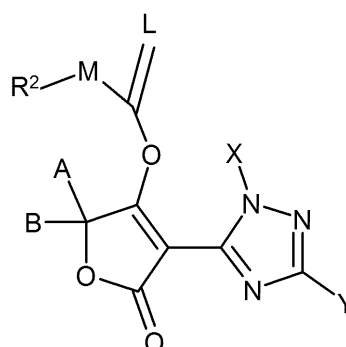
(式中、 R^1 は上記の意味を有する。) と、適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に酸結合剤の存在下に反応させる ;

(M) 下記で示した式 (I-1-c)、(I-2-c)、(I-6-c) または (I-8-c) の化合物

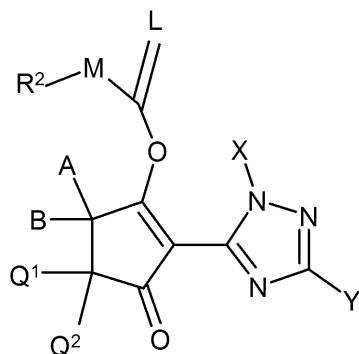
(I-1-c):



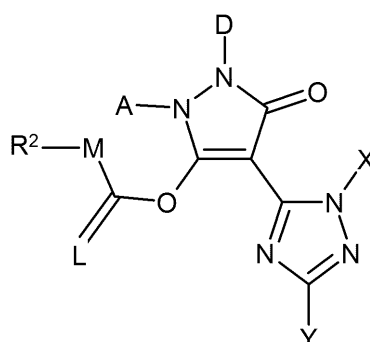
(I-2-c):



(I-6-c):



(I-8-c):



(A、B、D、 Q^1 、 Q^2 、 R^2 、M、X および Y は上記の意味を有し、L は酸素を表す。) を得るために、上記で示した式 (I-1-a)、(I-2-a)、(I-6-a) または (I-8-a) の化合物 (A、B、D、 Q^1 、 Q^2 、X および Y は上記の意味を有する。) を、各場合で下記式 (XVIII) のクロルギ酸エステル :

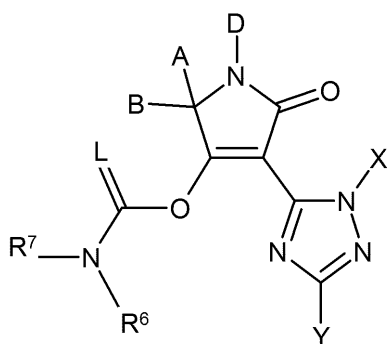
【化 5 7】



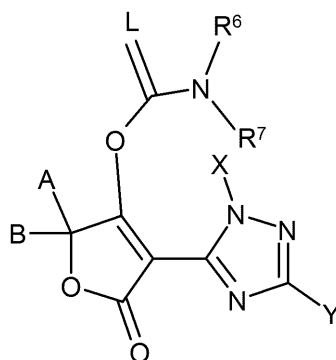
(式中、 R^2 および M は上記の意味を有しする。) と、適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に酸結合剤の存在下に反応させる ;

(R) 下記で示した式 (I-1-g)、(I-2-g)、(I-6-g) または (I-8-g) の化合物

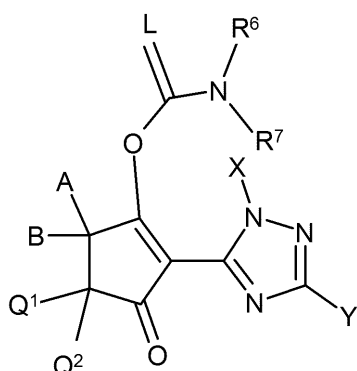
(I-1-g):



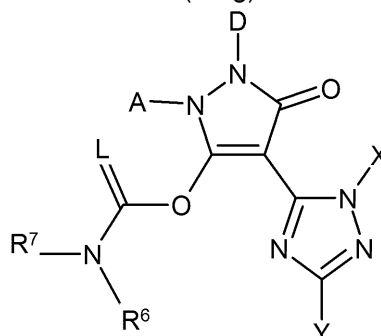
(I-2-g):



(I-6-g):



(I-8-g):



(A、B、D、L、Q¹、Q²、R⁶、R⁷、U、XおよびYは上記の意味を有する。)
 を得るために、上記で示した式 (I - 1 - a)、(I - 2 - a)、(I - 6 - a)または
 (I - 8 - a) (A、B、D、Q¹、Q²、XおよびYは上記の意味を有する。)を各場
 合で、

() 下記式 (XXV) のカルバモイルクロライド類 :

【化 6 4】



(式中、L、R⁶およびR⁷は上記の意味を有する。)と適切な場合に希釈剤の存在下におよび適切な場合に酸結合剤の存在下に反応させる、請求項 1 に記載の式 (I) の化合物の製造方法。

【請求項 5】

少なくとも一つの請求項 1 に記載の式 (I) の化合物を含む、有害生物および/または望ましくない植生を防除するための組成物。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の式 (I) の化合物を、動物害虫、望ましくない植生および/またはそれらの生息場所に作用させる、害虫および/または望ましくない植生の防除方法。

【請求項 7】

動物害虫および/または望ましくない植生を防除するための請求項 1 に記載の式 (I) の化合物の使用。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の式 (I) の化合物を増量剤および/または界面活性剤と混合する、病害生物および/または望ましくない植生を防除するための組成物の製造方法。

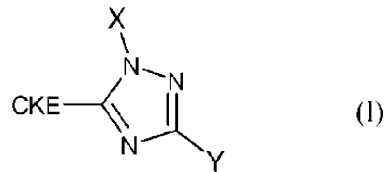
【請求項 9】

有害生物および/または望ましくない植生を防除するための組成物を製造するための請求項 1 に記載の式 (I) の化合物の使用。

【請求項10】

成分として、

(a) 少なくとも一つの式(I)の化合物(X、YおよびCKEは請求項1に記載の意味を有する。)

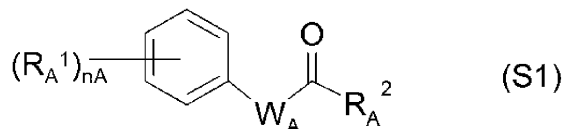


および

(b) 化合物：S1、S2、S3、S4、S5、S6、S7、S8、S9、S10、S11、S12、S13、S14およびS15の群からの少なくとも一つの作物植物適合性改善性化合物

を含む、有効量の活性化合物組み合わせを含む組成物であって、

S1が式(S1)の化合物：



[記号および指数はそれぞれ下記のように定義され、

n_A は0から5の自然数であり；

R_A^1 は、ハロゲン、 $(C_1 - C_4)$ アルキル、 $(C_1 - C_4)$ アルコキシ、ニトロまたは $(C_1 - C_4)$ ハロアルキルであり；

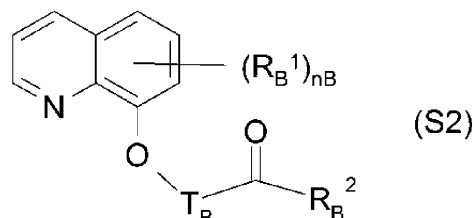
W_A は、NまたはOの1から3個の環ヘテロ原子を有する部分不飽和もしくは芳香族の5員複素環の群からの置換されていないか置換されている2価複素環基であり、その環には少なくとも1個の窒素原子および最大で1個の酸素原子が存在し；

R_A^2 は、 OR_A^3 、 SR_A^3 もしくは $NR_A^3R_A^4$ または少なくとも1個の窒素原子および3個以下のヘテロ原子を有する飽和もしくは不飽和の3から7員複素環（それは窒素原子を介して(S1)におけるカルボニル基に結合しており、置換されていないか $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシもしくは置換されていても良いフェニルの群からの基によって置換されている。)；

R_A^3 は、水素または置換されていないか置換されている脂肪族ヒドロカルビル基であり；

R_A^4 は、水素、 $(C_1 - C_6)$ -アルキル、 $(C_1 - C_6)$ -アルコキシまたは置換されているまたは置換されていないフェニルである。]；

S2が下記式(S2)の化合物：



[式中、記号および指数はそれぞれ下記のように定義され、

R_B^1 は、ハロゲン、 $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシ、ニトロまたは $(C_1 - C_4)$ -ハロアルキルであり；

n_B は、0から5の自然数であり；

R_B^2 は、 OR_B^3 、 SR_B^3 もしくは $NR_B^3R_B^4$ または少なくとも1個の窒素原子および3個以下のヘテロ原子を有する飽和もしくは不飽和の3から7員複素環（それは窒素原子を介して(S2)におけるカルボニル基に結合しており、置換されていないか $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシもしくは置換されていても良いフ

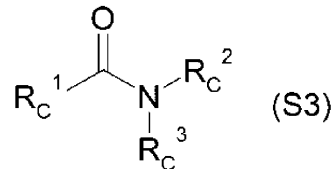
エニルの群からの基によって置換されている。)であり；

R_B^3 は、水素または置換されていないか置換されている脂肪族ヒドロカルビル基であり；

R_B^4 は、水素、 $(C_1 - C_6)$ - アルキル、 $(C_1 - C_6)$ - アルコキシまたは置換されているまたは置換されていないフェニルであり；

T_B は、置換されていないか1個もしくは2個の $(C_1 - C_4)$ - アルキル基または $[(C_1 - C_3)$ - アルコキシ]カルボニルによって置換されている $(C_1$ または $C_2)$ - アルカンジイル鎖である。]；

S3が下記式(S3)の化合物：

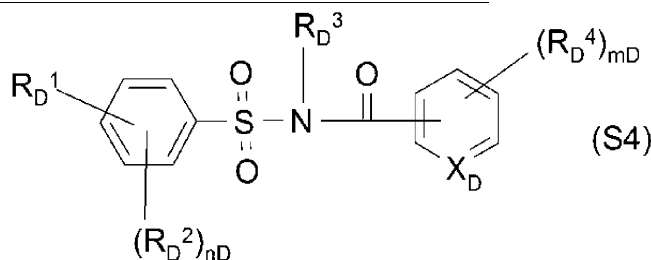


[式中、記号および指数はそれぞれ下記のように定義され、

R_C^1 は、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルキル、 $(C_2 - C_4)$ - アルケニル、 $(C_2 - C_4)$ - ハロアルケニル、 $(C_3 - C_7)$ - シクロアルキルであり；

R_C^2 、 R_C^3 は同一であるか異なっており、水素、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_2 - C_4)$ - アルケニル、 $(C_2 - C_4)$ - アルキニル、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルキル、 $(C_2 - C_4)$ - ハロアルケニル、 $(C_1 - C_4)$ - アルキルカルバモイル - $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_2 - C_4)$ - アルケニルカルバモイル - $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_1 - C_4)$ - アルコキシ - $(C_1 - C_4)$ - アルキル、ジオキサニル $(C_1 - C_4)$ - アルキル、チアゾリル、フリル、フリルアルキル、チエニル、ピペリジル、置換されているまたは置換されていないフェニルであり、または R_C^2 および R_C^3 が一体となって、置換されているまたは置換されていない複素環を形成している。]；

S4が下記式(S4)の化合物またはその塩：



[式中、記号および指数はそれぞれ下記のように定義され、

X_D はCHまたはNであり；

R_D^1 はCO - $N R_D^5 R_D^6$ またはNHCO - R_D^7 であり；

R_D^2 は、ハロゲン、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルキル、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルコキシ、ニトロ、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_1 - C_4)$ - アルコキシ、 $(C_1 - C_4)$ - アルキルスルホニル、 $(C_1 - C_4)$ - アルコキシカルボニルまたは $(C_1 - C_4)$ - アルキルカルボニルであり；

R_D^3 は、水素、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_2 - C_4)$ - アルケニルまたは $(C_2 - C_4)$ - アルキニルであり；

R_D^4 は、ハロゲン、ニトロ、 $(C_1 - C_4)$ - アルキル、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルキル、 $(C_1 - C_4)$ - ハロアルコキシ、 $(C_3 - C_6)$ - シクロアルキル、フェニル、 $(C_1 - C_4)$ - アルコキシ、シアノ、 $(C_1 - C_4)$ - アルキルチオ、 $(C_1 - C_4)$ - アルキルスルフィニル、 $(C_1 - C_4)$ - アルキルスルホニル、 $(C_1 - C_4)$ - アルコキシカルボニルまたは $(C_1 - C_4)$ - アルキルカルボニルであり；

R_D^5 は、水素、 $(C_1 - C_6)$ - アルキル、 $(C_3 - C_6)$ - シクロアルキル、 $(C_2 - C_6)$ - アルケニル、 $(C_2 - C_6)$ - アルキニル、 $(C_5 - C_6)$ - シクロアルケ

ニル、フェニルまたは窒素、酸素および硫黄の群からの v_D 個のヘテロ原子を含む 3 から 6 員複素環であり、後者の 7 種類の基は、それぞれハロゲン、 $(C_1 - C_6)$ -アルコキシ、 $(C_1 - C_6)$ -ハロアルコキシ、 $(C_1 - C_2)$ -アルキルスルフィニル、 $(C_1 - C_2)$ -アルキルスルホニル、 $(C_3 - C_6)$ -シクロアルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシカルボニル、 $(C_1 - C_4)$ -アルキルカルボニルおよびフェニル、そして環状基の場合にはさらに $(C_1 - C_4)$ -アルキルおよび $(C_1 - C_4)$ -ハロアルキルの群からの v_D 個の置換基によって置換されており；

R_D^6 は、水素、 $(C_1 - C_6)$ -アルキル、 $(C_2 - C_6)$ -アルケニルまたは $(C_2 - C_6)$ -アルキニルであり、後者の 3 種類の基はそれぞれハロゲン、ヒドロキシル、 $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシおよび $(C_1 - C_4)$ -アルキルチオの群からの v_D 個の基によって置換されており、または

R_D^5 および R_D^6 がそれらが有する窒素原子とともに、ピロリジニルまたはピペリジニル基を形成しており；

R_D^7 は、水素、 $(C_1 - C_4)$ -アルキルアミノ、ジ- $(C_1 - C_4)$ -アルキルアミノ、 $(C_1 - C_6)$ -アルキル、 $(C_3 - C_6)$ -シクロアルキルであり、後者の 2 種類の基はハロゲン、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシ、 $(C_1 - C_6)$ -ハロアルコキシおよび $(C_1 - C_4)$ -アルキルチオ、そしてさらに環状基の場合には $(C_1 - C_4)$ -アルキルおよび $(C_1 - C_4)$ -ハロアルキルの群からの v_D 個の置換基によって置換されており；

n_D は 0、1 または 2 であり；

m_D は 1 または 2 であり；

v_D は 0、1、2 または 3 である。]；

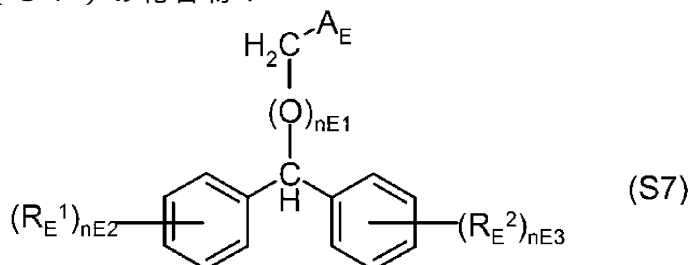
S 5 が下記群から選択される化合物：

3, 4, 5-トリアセトキシ安息香酸エチル、3, 5-ジメトキシ-4-ヒドロキシ安息香酸、3, 5-ジヒドロキシ安息香酸、4-ヒドロキシサリチル酸、4-フルオロサリチル酸、2-ヒドロキシ桂皮酸、1, 2-ジヒドロ-2-オキソ-6-トリフルオロメチルピリジン-3-カルボキサミドおよび 2, 4-ジクロロ桂皮酸；

S 6 が下記群からの化合物：

1-メチル-3-(2-チエニル)-1, 2-ジヒドロキノキサリン-2-オン、1-メチル-3-(2-チエニル)-1, 2-ジヒドロキノキサリン-2-チオン、1-(2-アミノエチル)-3-(2-チエニル)-1, 2-ジヒドロキノキサリン-2-オン塩酸塩、1-[2-(ジエチルアミノ)エチル]-6, 7-ジメチル-3-チオフェン-2-イルキノキサリン-2(1H)-オン、1-(2-メチルスルホニルアミノエチル)-3-(2-チエニル)-1, 2-ジヒドロキノキサリン-2-オン；

S 7 が下記式 (S 7) の化合物：



[式中、記号および指数はそれぞれ下記のように定義され、

R_E^1 、 R_E^2 はそれぞれ独立に、ハロゲン、 $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルコキシ、 $(C_1 - C_4)$ -ハロアルキル、 $(C_1 - C_4)$ -アルキルアミノ、ジ- $(C_1 - C_4)$ -アルキルアミノ、ニトロであり；

A_E は、 $COOR_E^3$ または $COSR_E^4$ であり；

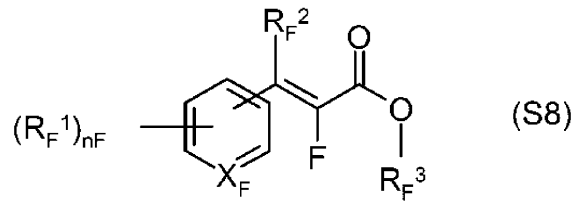
R_E^3 、 R_E^4 はそれぞれ独立に、水素、 $(C_1 - C_4)$ -アルキル、 $(C_2 - C_6)$ -アルケニル、 $(C_2 - C_4)$ -アルキニル、シアノアルキル、 $(C_1 - C_4)$ -ハロア

ルキル、フェニル、ニトロフェニル、ベンジル、ハロベンジル、ピリジニルアルキルおよびアルキルアンモニウムであり、

n_{F^1} は 0 または 1 であり、

n_{F^2} 、 n_{F^3} はそれぞれ互いに独立に 0、1 または 2 である。];

S 8 が下記式 (S 8) の化合物:



[式中、

X_F は CH または N であり、

n_F は、 $X_F = N$ の場合、0 から 4 の整数であり、

$X_F = CH$ の場合、0 から 5 の整数であり、

R_{F^1} は、ハロゲン、(C₁ - C₄) - アルキル、(C₁ - C₄) - ハロアルキル、(C₁ - C₄) - アルコキシ、(C₁ - C₄) - ハロアルコキシ、ニトロ、(C₁ - C₄) - アルキルチオ、(C₁ - C₄) - アルキルスルホニル、(C₁ - C₄) - アルコキシカルボニル、置換されていても良いフェニル、置換されていても良いフェノキシであり、

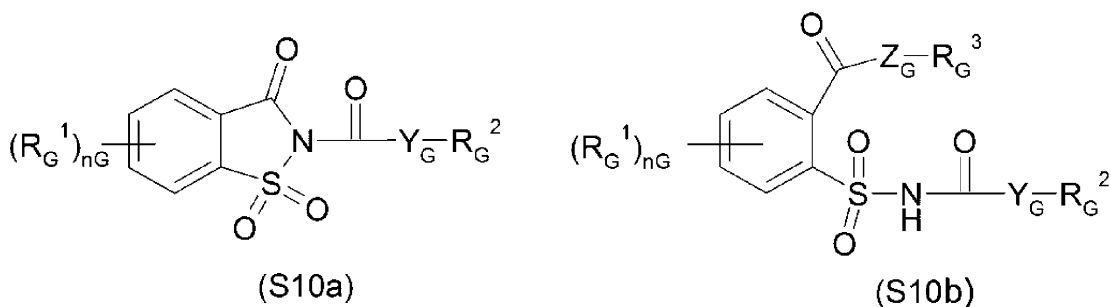
R_{F^2} は、水素または (C₁ - C₄) - アルキルであり、

R_{F^3} は、水素、(C₁ - C₈) - アルキル、(C₂ - C₄) - アルケニル、(C₂ - C₄) - アルキニルまたはアリールであり、上記炭素含有基のそれぞれは、置換されていないか 1 以上のハロゲンおよびアルコキシからなる群からの同一もしくは異なる基によって置換されている。] またはその塩;

S 9 が下記群からの活性化化合物:

1, 2 - ジヒドロ - 4 - ヒドロキシ - 1 - エチル - 3 - (5 - テトラゾリルカルボニル) - 2 - キノロン、1, 2 - ジヒドロ - 4 - ヒドロキシ - 1 - メチル - 3 - (5 - テトラゾリルカルボニル) - 2 - キノロン;

S 10 が下記式 (S 10 a) または (S 10 b) の化合物:



[式中、

R_G^1 はハロゲン、(C₁ - C₄) - アルキル、メトキシ、ニトロ、シアノ、CF₃、OCF₃ であり、

Y_G 、 Z_G はそれぞれ互いに独立に O または S であり、

n_G は 0 から 4 の整数であり、

R_G^2 は (C₁ - C₁₆) - アルキル、(C₂ - C₆) - アルケニル、(C₃ - C₆) - シクロアルキル、アリール、ベンジル、ハロベンジルであり、

R_G^3 は水素または (C₁ - C₆) アルキルである。];

S 11 が下記群 (S 11) からの活性化化合物:

「オキサベトリニル」(Z) - 1, 3 - ジオキサラン - 2 - イルメトキシイミノ (フェニル) アセトニトリル (S 11 - 1)、

「フルキソフェニム」(1 - (4 - クロロフェニル) - 2, 2, 2 - トリフルオロ - 1 - エタノン - O - (1, 3 - ジオキサラン - 2 - イルメチル) オキシム) (S 11 - 2)

および

「シオメトリニル」または「CGA-43089」(Z)-シアノメトキシイミノ(フェニル)アセトニトリル(S11-3)；

S12が下記化合物：

[(3-オキソ-1H-2-ベンゾチオピラン-4(3H))-イリデン]メトキシ酢酸メチル；

S13が下記群からの化合物：

「無水ナフタリン酸」(無水1,8-ナフタリンジカルボン酸)(S13-1)、

「フェンクロリム」(4,6-ジクロロ-2-フェニルピリミジン)(S13-2)、

「フルラゾール」(ベンジル-2-クロロ-4-トリフルオロメチル-1,

3-チアゾール-5-カルボキシレート)(S13-3)、

「CL304415」(4-カルボキシ-3,4-ジヒドロ-2H-1-ベンゾピラン-4-酢酸)(S13-4)、

「MG191」(2-ジクロロメチル-2-メチル-1,3-ジオキサラン)(S13-5)、

「MG-838」(2-プロペニル1-オキサ-4-アザスピロ[4.5]デカン-4-カルボジチオエート)(S13-6)、

「ジスルホトン」(O,O-ジエチルS-2-エチルチオエチルホスホロジチオエート)(S13-7)、

「ジエトラート」(O,O-ジエチルO-フェニルホスホロチオエート)(S13-8)、

「メフェナート」(4-クロロフェニルメチルカーバメート)(S13-9)；

S14が下記群から選択される活性化化合物：

「ジメピペラート」または「MY-93」(S-1-メチル-1-フェニルエチルピペリジン-1-カルボチオエート)、

「ダイムロン」または「SK23」(1-(1-メチル-1-フェニルエチル)-3-p-トリル尿素)、

「クミルロン」=「JC-940」(3-(2-クロロフェニルメチル)-1-(1-メチル-1-フェニルエチル)尿素

「メトキシフェノン」または「NK049」(3,3-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン)、

「CSB」(1-プロモ-4-(クロロメチルスルホニル)ベンゼン)；

S15が下記群から選択される活性化化合物：

(2,4-ジクロロフェノキシ)酢酸(2,4-D)、

(4-クロロフェノキシ)酢酸、

(R,S)-2-(4-クロロ-o-トリルオキシ)プロピオン酸(メコプロップ)、

4-(2,4-ジクロロフェノキシ)酪酸(2,4-DB)、

(4-クロロ-o-トリルオキシ)酢酸(MCPA)、

4-(4-クロロ-o-トリルオキシ)酪酸、

4-(4-クロロフェノキシ)酪酸、

3,6-ジクロロ-2-メトキシ安息香酸(ジカンバ)、

3,6-ジクロロ-2-メトキシ安息香酸1-(エトキシカルボニル)エチル(ラクチジクロール-エチル)

であることを特徴とする、前記組成物。

【請求項11】

前記作物植物適合性改善性化合物がメフェンピル-ジエチルである請求項10に記載の組成物。

【請求項12】

請求項10に記載の組成物を、植物またはその周囲に作用させる、望ましくない植生の防除方法。

【請求項 13】

望ましくない植生を防除するための請求項 10 に記載の組成物の使用。

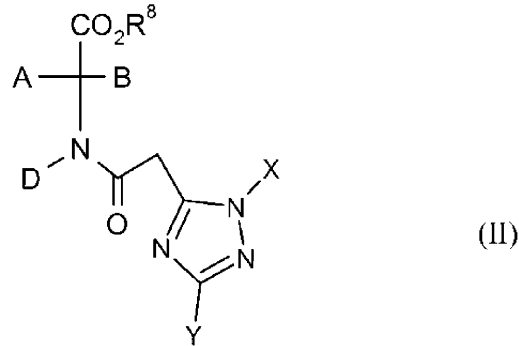
【請求項 14】

請求項 1 に記載の式 (I) の化合物および請求項 10 に記載の作物植物適合性改善性化合物を、別個に、短期間の間に順次にて、植物またはその周囲に作用させる、望ましくない植生の防除方法。

【請求項 15】

下記式 (II) の化合物。

【化 65】



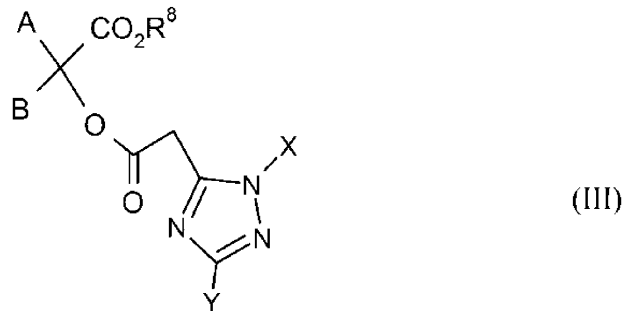
[式中、

A、B、D、X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、
R⁸ はアルキルを表す。]

【請求項 16】

下記式 (III) の化合物。

【化 66】

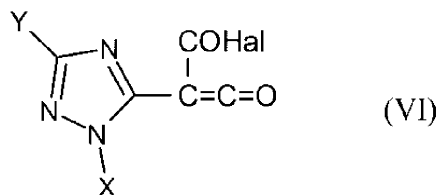


[式中、A、B、X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、
R⁸ はアルキルを表す。]

【請求項 17】

下記式 (VI) の化合物。

【化 68】



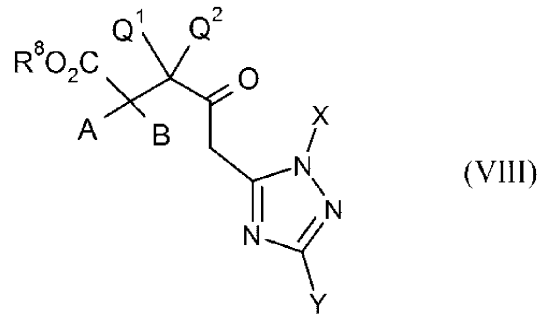
[式中、

X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、
Hal はハロゲンを表す。]

【請求項 18】

下記式 (VII) の化合物。

【化 6 9】

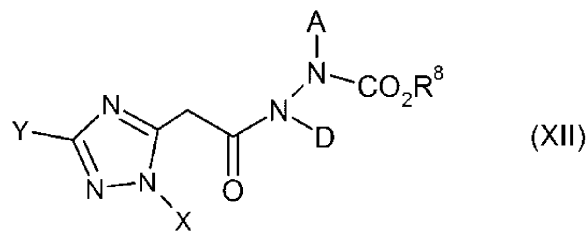


[式中、A、B、Q¹、Q²、X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、R⁸ はアルキルを表す。]

【請求項 19】

下記式 (XII) の化合物。

【化 7 1】

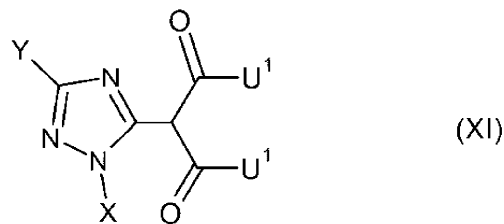


[式中、A、D、X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、R⁸ はアルキルを表す。]

【請求項 20】

下記式 (XI) の化合物。

【化 7 5】

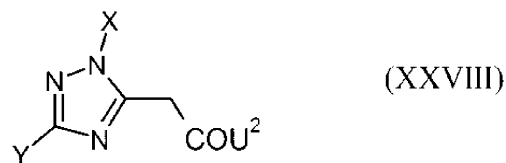


[式中、
X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、
U¹ は NH₂ または O - R⁸ を表し、
R⁸ はアルキルを表す。]

【請求項 21】

下記式 (XXVIII) の化合物。

【化 7 6】

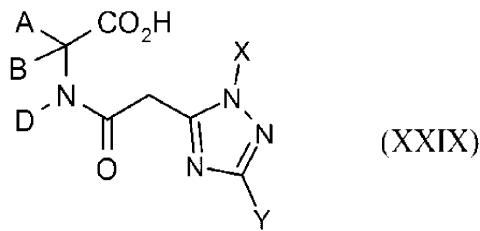


[式中、
X および Y は請求項 1 に記載の意味を有し、
U² は、イミダゾール、N, N - ジシクロヘキシルカルボキシイミダミド、プロパンホスホンイル又はハロゲンから選択される脱離基を表す。]

【請求項 22】

下記式 (X X I X) の化合物。

【化 7 7】

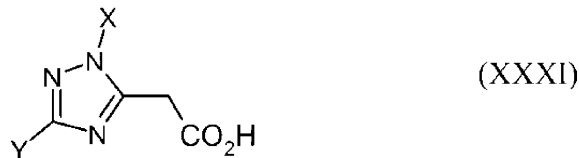


[式中、A、B、D、XおよびYは請求項1に記載の意味を有する。]

【請求項 2 3】

下記式 (X X X I) の化合物。

【化 7 8】

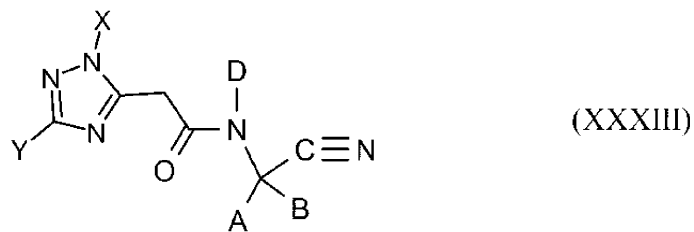


[式中、XおよびYは請求項1に記載の意味を有する。]

【請求項 2 4】

下記式 (X X X I I I) の化合物。

【化 7 9】

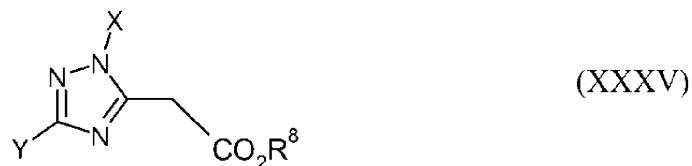


[式中、A、B、D、XおよびYは請求項1に記載の意味を有する。]

【請求項 2 5】

下記式 (X X X V) の化合物。

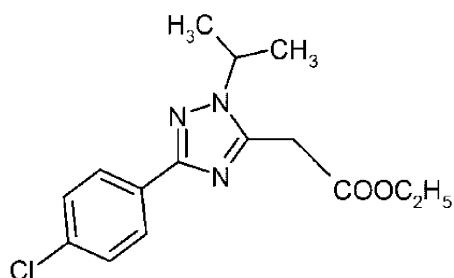
【化 8 0】



[式中、XおよびYは請求項1に記載の意味を有し、

R⁸はアルキルを表し、下記化合物：

【化 8 1】

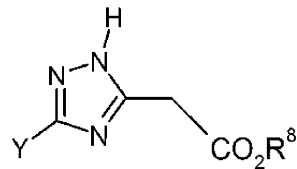


は除く。]

【請求項 26】

下記式 (XXXV-A) の化合物。

【化 8 2】

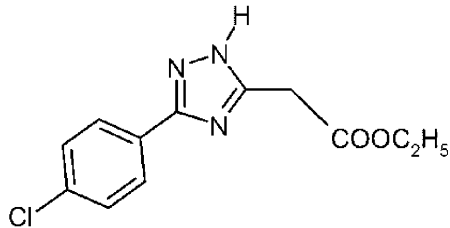


(XXXV-A)

[式中、R⁸ はアルキルを表し、

Y は請求項 1 に記載の意味を有し、下記化合物：

【化 8 3】

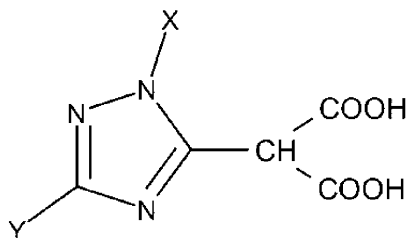


を除く。]

【請求項 27】

下記式 (XXXVII) の化合物。

【化 8 4】



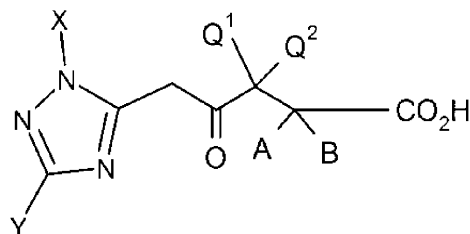
(XXXVII)

[式中、X および Y は請求項 1 に記載の意味を有する。]

【請求項 28】

下記式 (XXXVIII) の化合物。

【化 8 5】



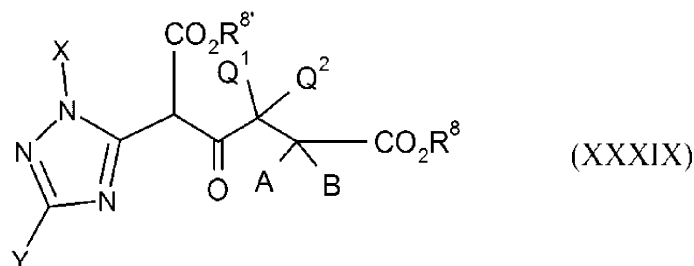
(XXXVIII)

[式中、X、Y、A、B、Q¹ および Q² は請求項 1 に記載の意味を有する。]

【請求項 29】

下記式 (XXXIX) の化合物。

【化 8 6】



[式中、

A、B、Q¹、Q²、XおよびYは請求項1に記載の意味を有し、

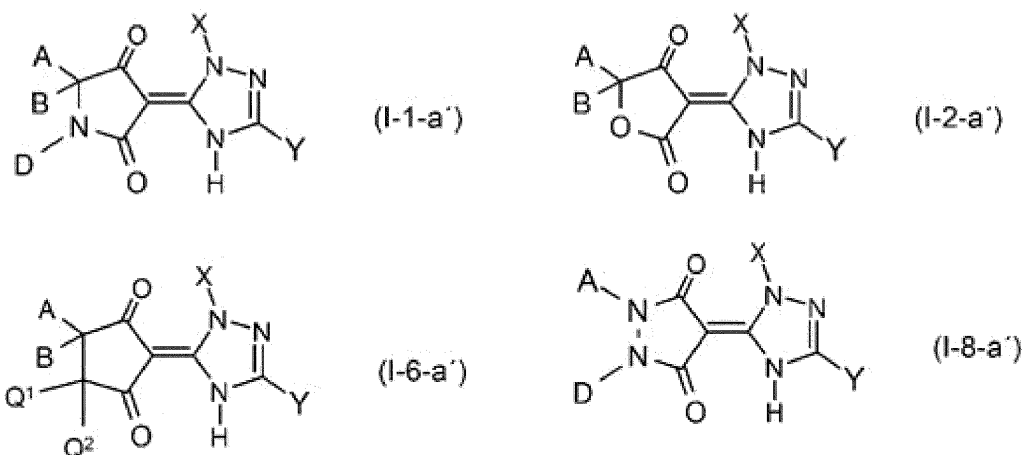
R⁸ はアルキルを表し、

R⁸ は水素またはアルキルを表す。]

【請求項30】

下記式の化合物。

【化 9 0】



[式中、X、Y、A、B、D、Q¹およびQ²は請求項1に記載の意味を有する。]

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0545

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0545】

良好な植物耐性および温血動物に対する良好な毒性および環境による良好な耐用性を併せ持つ本発明による活性化合物は、植物および植物器官を保護し、収穫量を増加させ、収穫物の品質を向上させ、有害動物、特に農業、園芸、畜産、森林、庭園およびレジャー施設、貯蔵製品および材料の保護、そして衛生部門で遭遇する昆虫、クモ類、蠕虫および軟体動物を防除するのに好適である。それらは好ましくは、作物保護剤として用いることができる。それらは、通常のように感受性かつ抵抗性の動物種に対して、さらには全てもしくは一部の発達段階に対して有効である。上記の有害生物には、下記のものがある。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0546

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0546】

節足動物門からの有害生物、詳細にはクモ形類からの有害生物、例えばアカルス属種 (Acarus spp.)、アセリア・シェルドニ (Aceria sheldoni)

、アクロプス属種 (*Aculops* spp.)、アクルス属種 (*Aculus* spp.)、アンブリオンマ属種 (*Amblyomma* spp.)、アンフィテトラニクス・ヴィエネンシス (*Amphitetranychus viennensis*)、アルガス属種 (*Argas* spp.)、ボーフィラス属種 (*Boophilus* spp.)、ブレビパルプス属種 (*Brevipalpus* spp.)、ブリオビア・グラミンム (*Bryobia graminum*)、ブリオビア・プラエティオサ (*Bryobia praetiosa*)、セントルロイデス属種 (*Centruroides* spp.)、コリオプテス属種 (*Choriotptes* spp.)、デルマニサス・ガリナエ (*Dermanyssus gallinae*)、デルマトファゴイデス・プテロニッシウス (*Dermatophagoides pteronyssius*)、デルマトファゴイデス・ファリナエ (*Dermatophagoides farinae*)、デルマセントル属種 (*Dermacentor* spp.)、エオテトラニクス属種 (*Eotetranychus* spp.)、エピトリメルス・ピリ (*Epitrimerus pyri*)、エウテトラニクス属種 (*Eutetranychus* spp.)、エリオフィエス属種 (*Eriophyes* spp.)、グリシファグス・ドメスチクス (*Glycyphagus domesticus*)、ハロチデウス・デストルクトル (*Halotydeus destructor*)、ヘミタルソネムス属種 (*Hemitarsonemus* spp.)、ヒアロンマ属種 (*Hyalomma* spp.)、イクソデス属種 (*Ixodes* spp.)、ラトロデクツス属種 (*Latrodectus* spp.)、ロキソセレス属種 (*Loxosceles* spp.)、メタテトラニクス属種 (*Metatetranychus* spp.)、ネウトロムビクラ・アウツムナリス (*Neutrombicula autumnalis*)、ヌフェルサ属種 (*Nuphersa* spp.)、オリゴニクス属種 (*Oligonychus* spp.)、オルニトドロス属種 (*Ornithodoros* spp.)、オルニトニッスス属種 (*Ornithonyssus* spp.)、パノニカス属種 (*Panonychus* spp.)、フィロコプトルタ・オレイボラ (*Phyllocoptruta oleivora*)、ポリファゴタルソネムス・ラタス (*Polyphagotarsonemus latus*)、ソロプテス属種 (*Psoroptes* spp.)、リピセファラス属種 (*Rhipicephalus* spp.)、リゾグリフス属種 (*Rhizoglyphus* spp.)、サルコプテス属種 (*Sarcoptes* spp.)、スコルピオ・マウルス (*Scorpio maurus*)、ステノタルソネムス属種 (*Stenotarsonemus* spp.)、ステノタルソネムス・スピンキ (*Steneotarsonemus spiniki*)、タルソネムス属種 (*Tarsonemus* spp.)、テトラニカス属種 (*Tetranychus* spp.)、トロムビクラ・アルフレズゲシ (*Trombicula alfreddugesi*)、バエジョビス属種 (*Vaejovis* spp.)、ヴァサテス・リコベルシキ (*Vasates lycopersici*)。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0566

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0566】

軟体動物門の有害生物、詳細には二枚貝綱からのもの、例えばドレイセナ属種 (*Dreissena* spp.)、さらには腹足 (*Gastropoda*) 綱から、例えば、アリオン属種 (*Arion* spp.)、ピオンファラリア属種 (*Biomphalaria* spp.)、ブリヌス属種 (*Bulinus* spp.)、デロセラス属種 (*Deroceras* spp.)、ガルバ属種 (*Galba* spp.)、リムナエア属種 (*Lymnaea* spp.)、オンコメラニア属種 (*Oncamelania* spp.)、ポマセア属種 (*Pomacea* spp.)、スクシネア属種 (*Succinea* s

pp.)。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0568

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0568】

線虫門からの植物有害生物、すなわち植物寄生性線虫、詳細にはアフェレンコイデス属種 (*Aphelenchoides* spp.)、ブルサフェレンクス属種 (*Bursaphelenchus* spp.)、ジチレンクス属種 (*Ditylenchus* spp.)、グロボデラ属種 (*Globodera* spp.)、ヘテロデラ属種 (*Heterodera* spp.)、ロンギドルス属種 (*Longidorus* spp.)、メロイドギネ属種 (*Meloidogyne* spp.)、プラチレンクス属種 (*Pratylenchus* spp.)、ラドホルス属種 (*Radopholus* spp.)、トリコドルス属種 (*Trichodorus* spp.)、チレンクルス属種 (*Tylenchulus* spp.)、キシフィネマ属種 (*Xiphinema* spp.)、ヘリコチレンクス属種 (*Helicotylenchus* spp.)、チレンホリンクス属種 (*Tylenchorhynchus* spp.)、スクテロネマ属種 (*Scutellonema* spp.)、パラトリコドルス属種 (*Paratrichodorus* spp.)、メロイネマ属種 (*Meloinema* spp.)、パラフェレンクス属種 (*Paraphelenchus* spp.)、アグレンクス属種 (*Aglenchus* spp.)、ベロノライムス属種 (*Belonolaimus* spp.)、ナコッブス属種 (*Nacobbus* spp.)、ロチレンクルス属種 (*Rotylenchulus* spp.)、ロチレンクス属種 (*Rotylenchus* spp.)、ネオチレンクス属種 (*Neotylenchus* spp.)、パラフェレンクス属種 (*Paraphelenchus* spp.)、ドリコドルス属種 (*Dolichodorus* spp.)、ホプロライムス属種 (*Hoplolaimus* spp.)、プンクトデラ属種 (*Punctodera* spp.)、クリコネメラ属種 (*Criconemella* spp.)、クイニスルシウス属種 (*Quinिसulcius* spp.)、ヘミシクリオフォラ属種 (*Hemicycliophora* spp.)、アングイナ属種 (*Anguina* spp.)、スバングイナ属種 (*Subanguina* spp.)、ヘミクリコネモイデス属種 (*Hemicriconemoides* spp.)、プシレンクス属種 (*Psilenchus* spp.)、シュードハレンクス属種 (*Pseudohalenchus* spp.)、クリコネモイデス属種 (*Criconemoides* spp.)、カコパウルス属種 (*Cacopaaurus* spp.)。